



【問い合わせ】 町人権啓発福祉センター（役場人権推進課 人権推進係）
☎(293)7920

同和問題

皆さんは、自分の生まれた所や、住んでいる（住んでいた）
所を理由に差別を受けたら、どう思いますか？

年間を通して同和問題をはじめ
さまざまな人権についての学習を実施しています

同和問題と人権問題

同和問題とは、日本固有の部落差別によって、さまざまに引き起こされる社会問題です。それは、封建時代の政治や経済の仕組みのなかで人為的につくりあげられた身分制度に基づくものですが、近代の日本社会の仕組みや意識は、かつての被差別身分の人々やその居住区を核として差別を再生産したのです。

現代社会においてもなお被差別部落に生まれ育ったというだけで、基本的な人権を侵害されています。特に職業選択の自由、居住や移動の自由、結婚の自由、教育の機会均等を保障される権利など憲法に明記されている自由や権利が完全に保障されていないのが現状です。

1965（昭和40）年の同和对策審議会答申では、「同和問題は人類普遍の原理である人間の自由と平等に関する問題であり、日本国憲法によって保障された、基本的な人権にかかわる課題である。その早急な解決こそ国の責務であり、同時に国民的課題である」と述べています。そして、2000（平成12）年12月に出された人権教育推進法では、同和問題の解決は、国と地方公共団体、国民の責務と位置付けられています。同和对策事業特別措置法から一般措置法

へと法律が変わっただけで同和問題が消滅したわけではありません。

現在も部落差別が残されているのは、同和問題について正しく学んでいないことが大きな要因ではないでしょうか。正しく理解してないと誤った情報や不確かな情報によって予断や偏見を持ってしまうことにつながります。

同和問題に対して、できることは

私たちの日常の生活において、直接部落差別に出会うことは少ないため、同和問題を改めて重要な人権課題として取り上げる必要はないと考える人もいます。しかし、現実には、いまだに結婚、就職の時に身元調査が行われている場合があります。

また、匿名性を悪用してインターネット掲示板に同和地区を誹謗中傷する差別的書き込みが頻発していること、さらには差別的言動も続いていることから、いまだに予断と偏見を持つ人がいることが大きな問題になっています。

私たちにできることは、同和問題について、正しく理解し、迷信や世間体などに左右されない人権感覚を身に付けること。そして、「差別を次の世代に残してはいけない」ということをもっと理解しなければならぬことだと思っています。

人権ニュース

児童館わくわくレクリエーション

児童館わくわくレクリエーションを10月8日、児童館で開催しました。当日は、赤ちゃんから高齢者まで157人の参加があり、人探しゲームや仮装などで楽しみました。ジャンケン列車のゲームでは、みんなが一つの輪につながりました。

その後、ボランティアの皆さんが作ったカレーをみんなで食べ、参加者の皆さんから「楽しかったです」と声が聞かれた楽しい1日でした。



内臓脂肪症候群の診断基準

（メタボリックシンドローム）

必須項目	内臓脂肪 の蓄積	へそ周囲径	男性 85cm以上 女性 90cm以上
		(内臓脂肪面積 男女とも ≥ 100cm ² に相当)	
※立った姿勢で、息を吐いてからへその周を測る			
+			
選択項目	血清脂質 異常	①中性脂肪 150mg /dl 以上	
		② HDL コレステロール 40mg /dl 未満	
		①②のいずれか、または両方	
これらの項目から 2 項目以上	高血圧	①最高血圧 130mHg 以上	
		②最低血圧 85mHg 以上	
		①②のいずれか、または両方	
	高血糖	空腹時血糖値 110mg /dl	

内臓脂肪を減らして、
生活習慣病を未然に防ごう

糖尿病や高血圧などの生活習慣病は、それぞれ別々に進行するわけではなく、おなかの周りの内臓に脂肪が蓄積した状態である内臓脂肪型肥満と大きく関わっていることが分かっています。

食べ過ぎや運動不足の結果、内臓脂肪が増えると、分泌される悪い物質が増えて、血管を傷つけて炎症を起こしたり、血栓を作りやすい状態を引き起こし、血管を詰まらせたりします。

また、コレステロールを回収する働きがある善玉コレステロールのHDLが減少して、動脈硬化が進みやすくなります。

内臓脂肪が蓄積している状態であって、高脂血症・高血圧・高血糖の数値が複数、正常値を超えていて、動脈硬化を引き起こす危険性の高い状態を内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）といいます。

へその周りを測って、特定健診などの結果と各基準数値を比べてチェックしてみましょう。

メタボリックシンドロームの人は、そうでない人に比べて、心筋梗塞や脳梗塞が発症する危険性が高い傾向にあります。健診結果の総合評価だけでなく、各項目の数値を確認することが大切です。一つ一つは正常の範囲内で、やや悪い程度であっても、危険因子を併せ持つと、動脈硬化がかなりのスピードで進行することがあります。自覚症状が無くても、1年に1回は健診を受けて、定期的に観察していきましょう。

生活習慣病 予防教室 参加者募集！

- 開催日・テーマ
平成24年1月20日（金）
「高血圧症予防」
平成24年2月17日（金）
「貧血予防」
平成24年3月8日（木）
「糖尿病予防」

※希望月だけの参加もできます。

- 時間
午前9時30分～午後1時
- 場所
生涯学習センター 調理室

- 対象
生活習慣病が気になる人やその家族
- 人数
15人程度
- 参加費
無料（米1合を持参）
- 申込期限
12月26日（月）

- 申し込み・問い合わせ
役場健康福祉課 健康推進係
☎(293)3510

健診日程	受付時間	実施場所
平成24年2月2日（木）	午前8時～午前10時	オークスプラザ
平成24年2月3日（金）		
平成24年2月4日（土）		

※申込状況により日程を変更する場合があります。

健診（検診）名	対象者	個人負担金		申込方法
		74歳まで	75歳以上	
特定健診	40～74歳の町国保加入者	1,500円		対象者には申込書が届きます
胸部レントゲン検診	40歳以上の町民	500円	200円	対象者には受診票が届きます
子宮がん検診	20歳以上の女性	1,000円	500円	直接電話で申し込みください
乳がん検診	30歳以上の女性	1,500円	500円	

今年の健診（検診）はお済みですか？

特定健診・胸部レントゲン検診・子宮がん検診・乳がん検診を追加実施します。今年の健診（検診）をまだ受診していない人が対象です。今年度最後の健診（検診）です。ぜひ受診してください。